

# 林業委員会

## 第22回大会

ローマ 2014年6月23-27日

### 森林と持続可能な開発目標

#### I はじめに

1 2012年の国連持続可能な開発会議（リオ+20）の参加国は、少数・野心的・明快な持続可能な開発目標（SDGs）の開発プロセスを開始することとした。目標は、三つの持続可能な発展分野（経済、社会、環境）をバランスよく取り扱うもので、国連の2015年以降の開発計画と整合性がとれたものでなくてはならない。この目標に向け参加国は、全ての関係者に開かれた、包括的で透明性のある政府間のプロセスを設立することとし、2014年の国連68回大会にSDG案を提出すべく公開作業グループ（OWG）を設置した。

2 その会議は、二つの段階で実施される。第一段階は2013年5月から2014年2月まで過去の実績調査と専門家、加盟国、その他の関係者の意見収集が焦点。会議のメンバーは、リオ+20の成果文書の活動計画について検討し、SDGsに反映されるべきかという主たる課題を検討した。2月から9月の第二期間は9月の68回国連総会に向けて、SDGsの提案を含む報告書の作成にはいつている。2014年9月からの国連総会でSDGsが2015年以降の開発目標の議題の中で議論される。

3 作業グループの議論は2014年7月に終了したが、それは2015年まで続く交渉の第一期が終了したにすぎない。交渉の結果は参加国の手に握られていて、国際機関やその他のグループは要請に応じて技術的な提案をするだけである。

4 森林は2月に開催された第8回公開作業グループで初めて議論された。作業グループの直後の進捗報告書では、「森林は、木材、その他の林産物、水源、医薬品、食糧、生態系の保全、炭素貯蔵その他の重要な効用のカギとなる供給者である。陸域の生物多様性の最大の保有域である。多くの政府にとって、木材生産などの経済的効用と多面的機能の保全のバランスのとれた均衡をとることが難しい。森林を伐採するより生立木のままの価値をより重視する施策が必要である」と記載されている。

5 10回会合を終えた現時点で、森林は、保護と生態系の減少を阻止する「生態系の生物多様性」のカテゴリーで議論されることとなっている。多くの政府がこの取り扱いでは持続可能な管理のすべての成果が適切な取扱われていないと表明している。

## II 持続可能な開発目標に対する森林の貢献

5 ミレニアム開発目標（MDGs）の中では森林は MDG7 の中だけで、環境資源の喪失の保全の指標の一つとしか扱われておらず、森林減少の否定的な面だけが取り上げられた。さまざまな場所で、MDGs は森林のさまざまな側面を反映できていないと指摘をうけてきた。

6 実際には、森林と樹木は全てではないにしても、ほとんどの MDGs に貢献している。森林及び森林外の樹木による野生の食料は、養分を供給し、補足的な食料を供給することにより、食料の安全保障に供給している。多くの地域では木材エネルギーは調理用の主たるエネルギーとなっている。森林は、遠隔地における雇用を創造し、多くは女性によって経営され、子供の教育など生計を改善する投資となっている小さな企業の基盤となっている。木材は再生可能なエネルギーであり、気候変動を緩和し、低炭素経済に貢献する。森林は、医薬品を提供し、人間の健康、健康な環境に貢献する。気候制御、土壌保全、水流の制御、生物多様性保全、農産物の遺伝子保全、受粉媒介者の生息地などの生態系サービスは、持続可能な農業の基盤となっている。持続可能な世界中の森林の管理は、これらの森林の多面的な機能の向上と、サービスと商品の提供を改善するものである。

7 持続可能な開発目標は、単に、危機にある天然資源の保全にとらえるだけでなく、これらの積極的な役割をすべて反映すべきである。現在進行中の開発のプロセスは、参加国に持続可能な開発に貢献する森林のすべての面を反映させる機会を提供している。

## III 持続可能な開発目標における森林に関する目標と指標

8 将来の SDGs の構成の変更を考慮外にすれば、森林が貢献できる持続可能な将来の様々な側面に関して達成目標を明確にすることが重要であり、それぞれの目標は、その前進が計測できるよう SMART の基準に基づく指標を持つべきである。

9 林業は多面的な資源管理と持続可能性に関する豊富な経験から利益を享受できる分野である。過去の数十年間森林に関する目標と指標が開発され合意されてきた。森林に直接関する手法のみではなく、森林に関連したものは数限りなくある。以下の全てのものが、SDGs の森林分野の目標と指標を作成するのに役立つだろう：

森林分野の手法

- the Global Objectives on Forests, the Non-legally Binding Instrument on All Types of Forests (Forest Instrument) and the seven thematic elements of

sustainable forest management (SFM) agreed by UNFF;

- the International Tropical Timber Agreement and the Criteria and Indicators (C&I) of SFM and Strategic Priorities of the International Tropical Timber Organization (ITTO);
- the C&I of Forest Europe;
- 1 Specific, measurable, achievable, relevant, time-bound.
- COFO/2014/5.1 3
- the Montreal Process and its C&I;
- FAO's Zero Illegal Deforestation initiative.

#### UNCED and the Rio Conventions

- Agenda 21 including its Forest Principles;
- the Convention on Biological Diversity (CBD) and the Strategic Plan for Biodiversity 2011–2020, including 5 Goals and 20 Aichi Targets;
- the UN Framework Convention on Climate Change (UNFCCC), the Kyoto Protocol, and decisions on REDD+;
- the UN Convention to Combat Desertification (UNCCD) and its concept of a land-degradation neutral world, embraced at Rio+20.

#### Food, agriculture and land

- the UN Zero Hunger Challenge;
- FAO's Global Goals and Strategic Objectives;
- the Global Partnership on Forest Landscape Restoration (GPFLR) and related Bonn Challenge to restore degraded and deforested land.

#### Trade and economic development

- the Convention on International Trade in Endangered Species (CITES);
- Forest Law Enforcement, Governance and Trade (FLEGT) of the European Union and the Forest Law Enforcement and Governance (FLEG) initiative;
- the UNEP Green Economy Initiative;
- the 10-Year Framework of Programmes on Sustainable Consumption and Production adopted at Rio+20.

10 これらの手段と目標に基づいて、森林の共同パートナーシップのメンバーはFAOの主導の中で、検討の素材として9の森林に関する目標を作成し、公開作業グループ第8回会合での森林に関する議論への技術的な貢献として提案した。これらの目標は、時期を

明示せず数値目標でもないが、持続可能な開発に対する森林の貢献を反映したものである。第一と第二の目標は森林資源それ自体について、管理と改良についての量と質に関するものである。また、その他は環境と社会経済的な森林からの便益にかかわるものである。

#### 森林共同パートナーシップ（C P F）メンバーによる SDGs における森林の目標への提案

**目標 1 全ての世界の森林の持続可能な管理：**この目標は森林資源と景観の長期にわたる持続可能性に焦点をあてたものである。これは、積極的、野心的、行動的、明瞭な概念で、持続可能な開発の全ての側面を均衡のとれた形で取り扱う。全ての国に適応できる。国連の加盟国はすでに持続可能な森林経営に対する政治的な約束をしている。また、生物多様性条約締約国は、生物多様性の戦略目標に沿って、持続可能な森林経営の機能に関する誓約をしている。

**目標 2 世界中の森林と木材資源の改良：**森林及び森林外の樹木の自然価値はその量（面積と蓄積）と質（構成と健全性など）によって形成される。森林と森林外の樹木の広がりや質は理解が容易である。この目標は生物多様性、気候、その他の森林の多面的機能の根拠となるものである。

**目標 3 森林の増加による気候変動の緩和：**森林減少と劣化は主たる二酸化炭素排出の原因の一つであるが、持続可能に管理された森林は炭素貯蔵庫である。森林の保護、森林管理の改善と新たな森林の造成は全て森林の気候変動緩和機能を増進するものである。伐採後の木材製品の炭素量も増加可能である。

**目標 4 直接的間接的な森林と樹木の食料の安全保障と栄養の改善への貢献：**森林と樹木は果実、ナッツ、葉、油脂、蜜、野生獣肉、昆虫など栄養のある食料の主たる供給源であり、24億人が調理用の燃料エネルギーを燃料用木材に依存している。森林は、気候を超越し、新鮮な水を供給し、受粉媒介者の生息地を提供するなど、農業の生産性を高め農業に貢献する。

**目標 5 賃金と森林の雇用を増加による貧困の削減：**世界中の主として途上国の数億人が森林から賃金と雇用を得ている。森林分野の女性は多大な雇用とビジネスの機会を生み出し、食料の確保、健康、教育の面で貢献する、家計と地域の利益を増進させている。

**目標 6 森林に関する生物多様性の保全と改良：**森林は陸域の生物多様性の80パーセントを保持している。生物多様性は、森林の生産性、強靱性、柔軟な適応性を支え、炭素固定、受粉、種子の散布、分解などに生態的プロセスを維持するのに重要である。生物多様性は食料の確保についても重要である。

**目標 7 森林地域から新鮮な水供給の改善：**森林は、地球上の利用可能な水の推計75パーセントを供給する、自然の透過貯留システムである。森林は、降水を土壌に透過し、地下水を形成し、乾燥地への水の供給と洪水ピークの抑制を図る。

**目標 8 人々と森林の急激・順次派生する変化への強靱性：**森林と樹木は食料供給システ

ムの強靱性を高め、その結果、急激なあるいは順次派生する変化への生計の強靱性を確保する。持続可能な森林経営は、長年採用されてきた経営についての地方の知識の価値と応用の経験を学ぶことにより、強靱性を高める。

**目標 9 森林のグリーン経済への貢献の改善：**森林は、持続可能な生物エネルギーと生物資材の提供、リクリエーション機会の提供、食料・医薬品への遺伝子資源の提供などを通じてグリーン経済に貢献する。

**目標 10 持続可能な森林経営に対する多様な財源の改善：**持続可能な森林への現在に投資は不十分である。世界の持続可能な森林を達成するため、すべての分野であらゆる財源に対して十分な財源を確保するための行動が必要である。

1 1 目標は SDGs に込み込まれるまでにはさらに検討を加えなければならない。ある種の目標については、FAO の世界森林資源調査 (FAO's Global Forest Resources Assessment) あるいは FAO 林産物年報 (the FAO Yearbook on Forest Products) などですでによく定義された指標が提案されているものもある。その他、貧困の低減や食料保全への貢献などに関する目標は測定するのが困難であるが、それらについては新しい指標が作成され、測定手法が開発される必要がある。

#### IV 結論

1 2 林業委員会は各国に以下の通り提言する

- 公開作業グループ及び国連総会に対する各国の対処方針の中で、森林と 2015 年以降の開発課題における持続可能な開発に関する 3 つの柱に対する森林の貢献について、適切に考慮され明確に記述されるよう、努力を強めること
- 公開作業グループ及び国連総会において、森林の多面的機能と持続可能な開発に関する三本の柱に対するそれらの貢献が認識されるような目標と指標が挿入されるよう、積極的に貢献すること

1 3 林業委員会は FAO に対して以下の通り提言する

- CPF メンバーと共同し、過去の森林に関係した目標と基準指標の作業に基づいて、SDGs における森林に関する適切な目標と指標に関する開発を支援すること
- 特に貧困の低減、食料の保証に関連した森林の社会経済的な効用に関するよりよい指標の作成の共同作業をすること